



# 小暮ひろし市議会報告

市議会議員 **小暮博志**

〒327-0824 佐野市馬門町1597番地  
TEL・FAX 0283-23-8263  
E-mail kogurehi@sctv.jp  
URL kogure-hiroshi.com

紙面

- ・東日本大震災発生から一年
- ・平成24年第1回消防組合議会、消防庁舎建設
- ・佐野インランドポート研究会(2月14日)
- ・佐野市の国民健康保険(国保)非常事態
- ・平成24年第1回 3月定例議会(2月24日~3月16日)
- ・中学校・小学校の卒業式に参列

## 東日本大震災発生から一年(3月11日)

佐野市社会福祉協議会による募金活動があり、参加してきました。

多くの子供連れの奥さんが、子供に渡して募金をしてくれ、大変うれしくなりました。

佐野市にも約250名の避難者が、全国では34万人の避難者がおられるとの事です。一日も早い復興に、協力したいと思います。

## 平成24年第1回消防組合議会、消防庁舎建設

2月4日、平成24年度の予算議会が開催され、予算案が決まりました。予算額15億8,100万円で、前年より1,600万円(1%)の減額となっております。

今年より、佐野市と岩舟町の予算分担金比率が、(佐野市):(岩舟町)=(88.8%):(11.2%)から、(83.2%):(16.8%)と変わりました。

人口負担率の見直しをした結果です。これにより、佐野市の負担金は、8,208万円の減となりました。

大きな歳出額として、北分署のポンプ車更新6,785万円、消防救急無線デジタル化移行事業費1,260万円などです。

### 《消防庁舎建設》

耐震強度不足の消防庁舎は、予算約21億円で平成27年度完成を考えております。今後、消防本部庁舎検討委員会を立上げて設計を進め、平成26年度から建設です。予算の約80%が地方債の予定です。

## 佐野インランドポート研究会(2月14日)

平成22年5月から平成24年2月まで、10回行われた研究会の報告会が文化会館会議室で行われました。

本研究会では、貿易貨物輸送基地として出流原地区を選定しました。

この様な事業として、近辺には太田市、宇都宮市、つくば市があります。市の関わりとしては、太田市は25%、つくば市は7.1%出資している。1999年に設立された、最も新しい太田国際貨物センターの、平成20年度決算は黒字でした。(平成22年4月:佐野市内陸型コンテナターミナル研究会)

報告会では、雇用も200~300人が期待されること。

市としても、平成24年度予算に『インランドポート誘致事業費』として、約1,200万円を計上しています。

市では、佐野市発展のための事業として考えています。事業主体がどのようになるか、今のところ判りませんが、今後、注目して行きたいと思っております。

## 佐野市の国民健康保険(国保)非常事態

《現状》 佐野市の(国保)は、歳入不足で平成24年度予算が組めない状況にあります。

平成22年度会計をみますと、歳入約133億円の内、保険税33億円、国・県支出金や交付金85億円、一般会計繰入金4億円、基金繰入金4億円、その他8億円です。

歳出の内、保険給付費が83億円です。

平成24年度では7億円、平成25年度では11億円の財源不足が予想されています。

そこで、平均保険料の約30%、保険料限度額を68万円から73万円に上げる答申がありましたが、保険料限度額を73万円に上げ分(税込増0.28億円)しか、(国保)運営協議会で認められていません。

今まで、財政調整基金から繰入をしていましたが、基金も無くなりました。(繰入金は、ここ4年で年平均5億円)

《対策》 対応として、収入の増加や保険給付費の縮減が必要となっております。

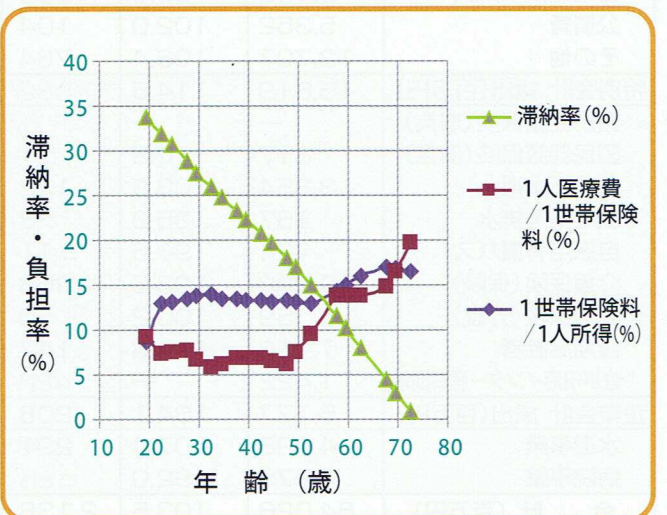
平成22年度を見ると保険税滞納額が約4億円、滞納者医療給付費約9億円ほどあり、これを減らすべきとの意見があります。

(滞納者医療給付費は、保険料未納者の医療費の給付であり、防ぐような仕組みが必要と思いました。)

《調査》 滞納額が発生する原因を、厚生省の(国保)実態調査等を用いて調べてみました。

今回の調査で、滞納率(滞納額/保険料:%)は、保険税の負担の大きさ(保険料/所得:%)や保険の必要性(医療費/保険料:%)の影響より、年齢による影響が大きく関係していることが判りました。

若い年齢層ほど収納意識向上が大切と分析しました。





## 平成24年第1回3月定例議会(2月24日~3月16日)

今回の定例議会では、報告1件、議案57件、陳情2件が提出され、審議されて全て可決されました。特に、以下の内容について記述します。

- (1) 平成24年度予算特別委員会
- (2) 一般質問 (質問者17名あり)
- (3) 陳情2件

### (1) 平成24年度予算特別委員会

平成24年度の一般会計、特別会計、公営企業会計予算は、下表の如くであります。予算の特徴として、景気対策用に中小企業融資の拡大や佐野田沼インター産業団造成事業の推進があります。

予算審査特別委員会が4日間開設され、一般会計に15人、特別・企業会計に14人が質問。(小暮ひろしは初めて、予算審査特別委員会の副委員長を経験しました。)

平成23年度予算との主な変化理由を、私なりに解説します。

- 〈一般会計〉・人件費減は、職員9人減、給与減0.23%、議員年金廃止等が関係しています。
  - ・物件費5億円減は様々な経費節減で、好ましい結果。
  - ・建設事業費5億円減は、給食センター整備費13億円減、佐野田沼インター周辺開発整備事業費5億円増等。
  - ・その他8億円増は、中小企業融資費6億円増等。
  - 〈特別会計〉・国民健康保険(事業)は、予算が組めないため、6月までの暫定予算です。
  - ・新たな14億円で、佐野田沼インター産業団地造成事業特別会計が設定されました。
  - 〈事業会計〉・病院事業費として約10億円必要ですが、前年より約1億円の軽減予算となっている。
- 佐野市の全予算は、21億円(3.5%)増の640億円となっている。

### 平成24年度 一般・特別・公営企業会計予算

	24年度予算	23年予算 比(%)	23年予算 増減額
一般会計 歳出(百万円)	43,230	99.9	△50
人件費	8,539	97.7	△199
物件費	5,183	90.8	△527
扶助費	8,251	104.4	351
普通建設事業費	3,198	85.6	△538
公債費	5,352	102.0	104
その他	12,707	106.4	764
特別会計 歳出(百万円)	15,619	114.5	1,982
国民健康保険(事業)	—	—	—
国民健康保険(直営)	317	10.3	1
公共下水道	3,354	103.8	122
農業集落排水	167	95.3	△8
自家用有償バス	124	91.5	△11
介護保険(保険)	9,020	103.5	308
介護保険(介護)	59	100.2	0
後期高齢者	1,156	114.6	147
佐野田沼インター産業団地	1,422	—	1,422
企業会計 歳出(百万円)	5,177	104.1	206
水道事業	4,198	107.4	291
病院事業	979	92.0	△85
合計(百万円)	64,026	103.5	2,138



### (2) 一般質問 (質問者17名あり)

#### \*\*\* 小暮ひろしの一般質問 \*\*\*

#### 国民健康保険(国保)に関して

1月29日の下野新聞に、(国保)運営協議会の様子を伝える、『2年で17億円収支不足に』という記事がありました。保険税の値上げを防ぐには『目前に迫った(国保)滞納徴収強化や後発医薬品(ジェネリック医薬品)普及といった医療費抑制対策など、財政健全化に向けた姿勢をいかに示すかにかかっている。』ともありました。

私も、昨年(2011年)の5月19日までの2年間、(国保)の運営委員やらせていただき、今も(国保)の被保険者となっており、(国保)には非常に関心を持っております。そこで、滞納への影響を調査してみました。

その結果が、前ページのグラフです。

滞納が年齢に大きく関係しており、(相関係数:0.998)、若い年齢層の啓蒙が必要と思われました。

- ・佐野市の滞納率の状況
- ・滞納率を少なくする重点策
- ・滞納率が下がると思われる口座引落しの状況を質問致しました。

(答弁)・(各年齢別滞納率は不明)

- ・夕方や夜間を対象にした電話催告や臨戸訪問、コンビニ収納の依頼、夜間の収納相談推進。
- ・口座引落し率が高いと収納率も高い傾向にある。口座引落しは、ここ3年が約35%であり、キャンペーンを通して向上させたい。

### (3) 陳情2件

(陳情第1号) 原発から再生可能エネルギーの推進へエネルギー政策の転換を求める陳情。

(陳情第2号) 子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見提出を求める陳情。

## 中学校・小学校の卒業式に参列

中学校と小学校の卒業式が3月9日と19日に行われ、来賓として出席しました。大きく成長した卒業生を拝見し、とても嬉しく思ったと思います。

小学校卒業生に、『思いやりの心を持ち、何事にも一生懸命頑張れる人になって欲しい』とお願ひし、祝辞としました。